

WAGURI COUNCIL

一般社団法人和栗協議会

2026.02.20

Vol.01	2024.04.19	作成
Vol.02	2024.05.09	更新
Vol.03	2024.08.06	更新
Vol.04	2024.10.18	更新
Vol.05	2024.11.05	更新
Vol.06	2024.11.25	更新
Vol.07	2025.03.11	更新
Vol.08	2025.07.25	更新
Vol.09	2025.12.18	更新
Vol.10	2026.02.12	更新
Vol.11	2026.02.20	更新



▶ はじまり

2014年「食育」と「職育」をテーマに浜北スイーツコミュニティnicoeを開業

▷nicoeオープン 2014年7月～



その後、五穀屋の6次産業「あわ栽培プロジェクト」をはじめ生産者と共に取り組む事業を経験

▷水窪あわプロジェクト 2015年4月～



▷カカオラボ 2016年7月～



▷PeanutsAtoZ 2021年5月～



⇒地域企業でありながら、主体的に地域と関わる機会が少なかったが、2014年以降活動が増えていき、上記のような取り組みの中で、JA静岡経済連とのご縁から掛川栗を取り巻く課題に触れ、**菓子屋として出来ることはないか**と考えるようになりました。



▶なぜ、掛川栗なのか

> 掛川栗の歴史

遠州・掛川市は栗栽培が古くから盛んで、山間地をはじめ市内全域で栗の木が育てられています。良い栗を作るには冬場に剪定作業を行い、日当たりを良くすることが大切ですが、掛川エリアは冬も雪は降らず、全国平均を大きく上回る日射量の温暖な気候です。南は海に望み、小笠山のふもとには穏やかな平野と、江戸時代から人々が守ってきた里山がたくさんあり、栗を作るために必要条件がすべてそろっている栗に最適な土地。

しかし、かつては盛んだった掛川の栗農家も後継者不足により、今では全盛期の生産量1/5まで減少している。「掛川の栗」は日光を多く浴びて粒が大きいことが特徴ですが、多くの高級料亭や有名和菓子屋さんから絶賛されている一方で地元では知られていません。掛川の幻の栗「八高（はっこう）」もこぶしサイズの大きな品種。一般社団法人和栗協議会では、この掛川の希少な品種を守り、その価値を明文化して後世に残していくことも使命のひとつです。



> 春華堂と掛川栗のご縁

春華堂では毎年約2万本の栗むし羊羹を生産していますが、十数年前までは掛川産の栗を使用。しかし、その後販売数の拡大に伴い、掛川産だけでは供給が賸えず、流通が安定している熊本産・茨城産のものを使用するようになっていった経緯があります。



課題

一次産業は、二次産業（加工）・三次産業（流通・販売）の「素材供給基盤」であり、一次産業が崩れれば、食料安全保障に直接影響する上、地域経済そのものが成立しなくなる。



平均所得
(全産業比)
60%

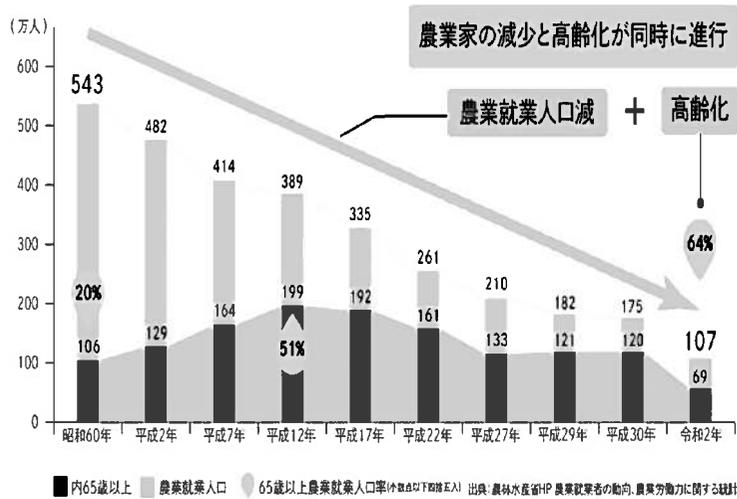
農業従事者
平均年齢
67.6歳

20年後
農業人口予測
-50%

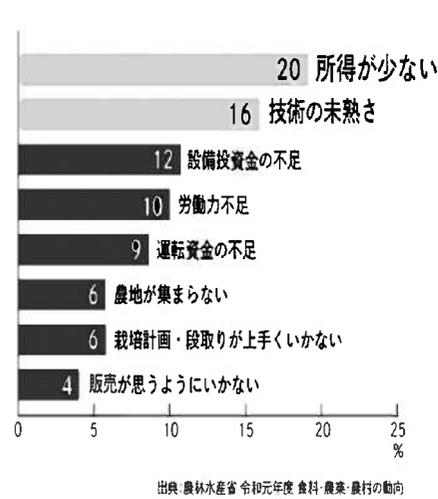


国内の栗生産量は全盛期の「1/5」にまで減少しており、生産者の高齢化、人手不足、耕作放棄地の増加が加速。収穫・選果は重労働であり機械化省力化技術の導入などが遅れており、国内需要は増加傾向にもかかわらず、輸入依存が拡大している現状。

農業家人口の減少と高齢化



新規就農者の悩み



年間収穫量

年産	結果樹面積	収穫量	10a当たり収量	出荷量
2012年産	2.10万ha	2.09万t	100 kg	1.53万t
2013年産	2.06万ha	2.10万t	102 kg	1.55万t
2014年産	2.07万ha	2.14万t	106 kg	1.60万t
2015年産	1.98万ha	1.63万t	82 kg	1.18万t
2016年産	1.93万ha	1.65万t	85 kg	1.21万t
2017年産	1.88万ha	1.87万t	99 kg	1.45万t
2018年産	1.83万ha	1.65万t	90 kg	1.30万t
2019年産	1.78万ha	1.57万t	88 kg	1.25万t
2020年産	1.74万ha	1.69万t	97 kg	1.36万t
2021年産	1.68万ha	1.57万t	93 kg	1.28万t

注1) 1ha=100a 1反=10a 1町歩=10反 10a=40本程度 3-5kg/樹

産地別収穫量 (2021)

産地	収穫量	構成比	結果樹面積
茨城県	3,800 t	24.20%	3,190 ha
熊本県	2,210 t	14.10%	2,300 ha
愛媛県	1,300 t	8.30%	2,030 ha
岐阜県	685 t	4.40%	423 ha
埼玉県	581 t	3.70%	581 ha
宮崎県	527 t	3.40%	667 ha
栃木県	455 t	2.90%	464 ha
長野県	451 t	2.90%	235 ha
兵庫県	417 t	2.70%	485 ha
千葉県	363 t	2.30%	352 ha
その他	4,911 t	31.30%	6,073 ha
全国計	15,700 t	100.00%	16,800 ha

注2) 農林水産省データのため、実収(潜在収)は数値以上



▶作付け品種及び特性



JA 静岡経済連西部みかん園芸課 資料より抜粋 **春華堂**
SHUNKA DO

区分	品種	樹勢	樹姿	果形	果皮の色	果実の大きさ (g)	果肉			品質	熟期	食味	収量	刈り払い被害
							色	肉質	甘味					
基幹品種	国見	中-やや弱	やや開帳	中-帯円三角	褐色	中(20-25)	淡黄色	やや粉質	やや少	中	9月上中旬	F	多	少
	筑波	強	やや直立	帯円三角	赤褐色	中(20-25)	黄色	粉質	多	上	9月中下旬	C	多	中
	有磨	やや強	やや直立	円	褐色	中(20)	淡黄色	粉質	やや少	中の上	9月中下旬	C	多	少
	銀寄	強	やや開帳	扁平	暗褐色	大(25)	淡黄色	粉質	多	上	9月下旬~ 10月上旬	B	多	少
	利平栗	強	やや直立	楕円	暗紫褐色	中(20-25)	黄色	粉質	多	上	9月中下旬	A	少	少
補助品種	丹沢	やや強	やや開帳	帯円三角	淡褐色	中(20-23)	淡黄色	粉質	中	中の上	9月上旬	E	中	中
	石鎚	中	やや開帳	円	赤褐色	中(20-25)	淡黄色	粉質	多	上	10月上中旬	D	多	少
その他	ぼろたん				赤褐色	大(30)	黄色	粉質	多		9月上中旬	C	中	
	八高					大(30-35)	黄色	粉質	中		8月下旬			
	美玖里	強	やや直立	球形	淡褐色	大(28)	黄色	粉質	多	上	9月下旬 10月上旬	A		

収量

筑波、**丹沢**、石鎚

食味

美玖里、利平栗

加工

ぼろたん、ぼろすけ

栄養

カリウム、ビタミン、食物繊維などがバランス良く豊富に含まれ、高血圧予防や便秘改善、疲労回復等の効果が期待できる。

- ・カリウムはりんごの4倍
- ・ビタミンCは温州みかんと同じ
- ・食物繊維はさつまいもより多く含まれる

紫峰（中生一晩生）、秋峰（一晩生）

*赤字：遠州・和栗プロジェクト推奨品種

渋皮の剥きやすさ
粘質の方が甘露煮にした場合に割れにくい



▶ 「地域競争」ではなく「地域共創」

「地域志本主義」から「農業のミライ」を変える
リジェネラティブ（再生的で持続発展）な地域づくり

国内の栗生産者同士のネットワークを繋ぐ、農業と地域と人を繋ぎ、世界にWAGURIを！

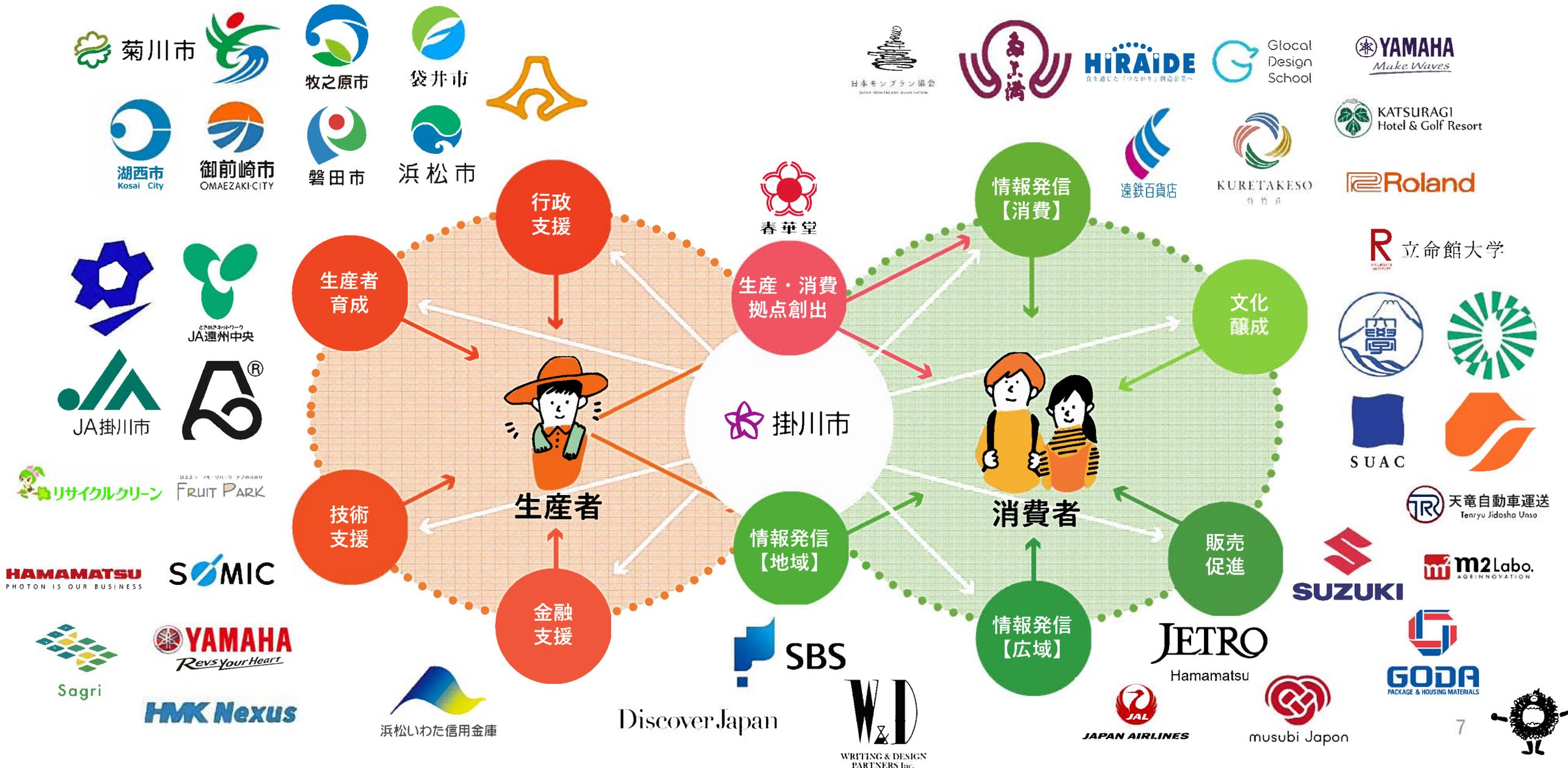
栗を通じて、食の新しい価値や楽しみ方を発見し、日本各地の生産者とともに農業課題に向き合う。

日本の「WAGURI」がワンチームとして世界に知ってもらえるよう。

産官学農連携の志を同じくする多業種な企業陣の英知を注いで、持続発展型の取り組みに挑戦します。



▶2025年度和栗協議会参画団体 51団体(正会員・賛助会員含む)



▶2025年度和栗協議会参画団体 53団体(正会員・賛助会員含む)

▶参画団体

- 幹事会員 01.掛川市農業協同組合
02.遠州夢咲農業協同組合
03.遠州中央農業協同組合
04.静岡県経済農業協同組合連合会
05.株式会社エムスクエア・ラボ
06.HMK Nexus 株式会社
07.株式会社遠鉄百貨店
08.株式会社呉竹荘ホールディングス
09.グローバルデザインスクール株式会社
10.ゴウダ株式会社
11.サグリ株式会社
12.株式会社静岡新聞社 静岡放送株式会社
13.有限会社春華堂
14.スズキ株式会社
15.株式会社ソミックマネジメントホールディングス
16.株式会社たこ満
17.株式会社TeaRoom
18.天竜自動車運送株式会社
19.株式会社時之栖
20.日本航空株式会社
21.浜松いわた信用金庫
22.株式会社平出章商店
23.ヤマハ株式会社
24.ヤマハ発動機株式会社
25.株式会社ヤマハリゾート
26.株式会社リサイクルクリーン
27.ローランド株式会社

▶参画団体

- 28.あまねキャリア株式会社
特別会員 29.静岡県
30.掛川市
31.浜松市
32.湖西市
33.磐田市
34.袋井市
35.森町
36.菊川市
37.御前崎市
38.牧之原市
39.国立大学法人静岡大学
40.静岡県公立大学法人静岡県立大学
41.静岡県立農林環境専門職大学
42.公立大学法人静岡文化芸術大学
43.立命館大学
44.独立行政法人日本貿易振興機構
賛助会員 45.松尾栗園 松尾和広
生産者会員 46.株式会社栗ノ木育成所
協力会員 47.株式会社ディスカバー・ジャパン
48.株式会社電通
49.中村建設株式会社
50.日本モンブラン協会
51.浜松PR
52.株式会社ビズホープ (musubi Japan)
53.静岡県和菓子協会

▶2026年度和栗協議会応援企業・団体 73団体

▶応援企業・団体 *順不同

- 01.税理士法人坂本&パートナー
- 02.青山学院大学 総合文化政策学部
- 03.法政大学 現代福祉学部
- 04.立教大学 スポーツウエルネス学部
- 05.立正大学
- 06.株式会社Highsto
- 07.アステリスク 和泉光一氏
- 08.メゾンジブレー 江森宏之氏
- 09.ブーランジェリータニグチ 谷口弘樹氏
- 10.遠州鉄道株式会社(遠鉄グループ)
- 11.天竜浜名湖鉄道株式会社
- 12.東海旅客鉄道株式会社
- 13.浜名梱包輸送株式会社
- 14.株式会社羽田未来総合研究所
- 15.株式会社Luup
- 16.株式会社ありあけ
- 17.株式会社サーラコーポレーション
- 18.サーラ不動産株式会社
- 19.株式会社静岡銀行
- 20.清水建設株式会社浜松営業所
- 21.スターツ東海株式会社
- 22.株式会社タイミー
- 23.有限会社竹泉
- 24.東急不動産株式会社
- 25.電源開発株式会社
- 26.有限責任監査法人トーマツ
- 27.株式会社トラジェクトリー

▶応援企業・団体 順不同

- 28.株式会社中岡建設
- 29.株式会社HEART CATCH
- 30.浜松市天竜商工会
- 31.株式会社ビームスクリエイティブ
- 32.ビヨンドア合同会社
- 33.松川電気株式会社
- 34.株式会社三井住友銀行
- 35.株式会社明治
- 36.WRITING & DESIGN PARTNERS
- 37.有限会社ラポール
- 38.株式会社天神屋
- 39.浜松パワーフード学会
- 40.株式会社BLUE LAKE Project
- 41.株式会社HACK
- 42.株式会社佐野ファーム
- 43.有限会社篠原建設
- 44.合同会社互産互消機構
- 45.株式会社ドリーム・フーズ
- 46.株式会社河合楽器製作所
- 47.サステン工業株式会社
- 48.株式会社虫秘茶
- 49.株式会社ヤタロー
- 50.須山建設株式会社
- 51.一般社団法人グローバル人財サポート浜松
- 52.丸堀製茶株式会社
- 53.株式会社ハマIN自動車学校

敬称略・順不同 2026年2月12日現在



▶2026年度和栗協議会応援企業・団体 73団体

▶応援企業・団体 *順不同

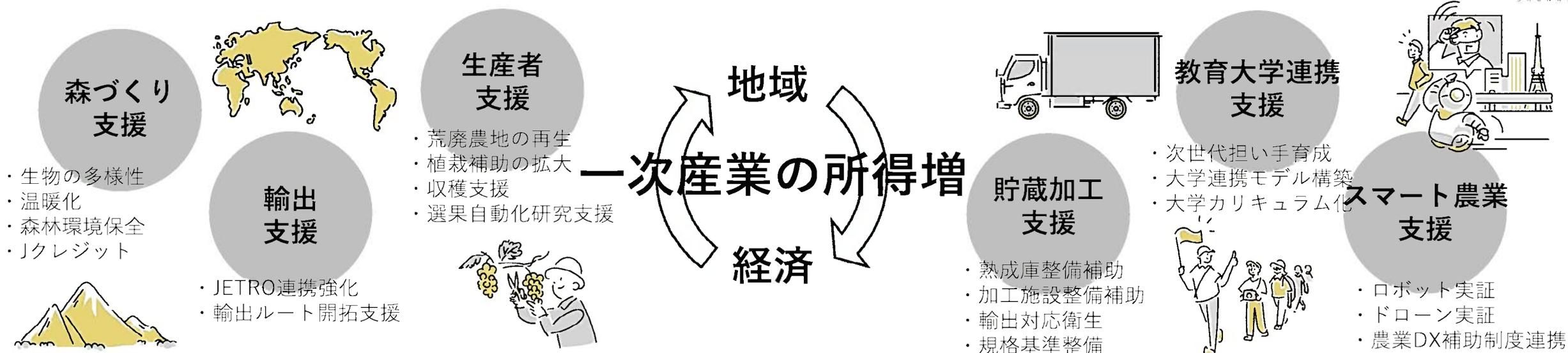
- 54.一般社団法人CREATION DRIVE
- 55.株式会社ALTILAN
- 56.HervestX株式会社
- 57.株式会社タイミー
- 58.株式会社地球の歩き方
- 59.株式会社PMA
- 60.株式会社れもんらいふ
- 61.三菱地所株式会社
- 62.有限会社佐々木広告事務所
- 63.株式会社ひらく
- 64.株式会社まちのミライ
- 65.UDS株式会社
- 66.株式会社paramita
- 67.ハウスギャバン株式会社
- 68.株式会社SCORE
- 69.株式会社栗のいえ
- 70.友栄食品興業株式会社
- 71.株式会社四万十ドラマ
- 72.むすびめコミュニケーションクリエイツ株式会社
- 73.有限会社桂花園



▶2026年度組織体制



▶一般社団法人和栗協議会の取り組みについて



**日本の栗産業再興は、農業再生・地域活性・輸出強化に直結する政策テーマ。
国・自治体・地域・企業が連携し、新しい一次産業モデルを共に創っていきたいと考えています。**

一般社団法人和栗協議会

生産

加工

ブランド化

販売

地域循環

地域企業同士が連携し、資本や知恵を持ち寄る「共創プラットフォーム」
地域課題の理解に留まらず、「稼げる地域経済の構造改革」の実証モデルの創出



▶一般社団法人和栗協議会の取り組みについて



① 生産者支援・増産モデル

- ・栽培講習・研修会の実施
- ・園地カルテのデジタル化
- ・担い手育成基盤構築
- ・若手栽培者の増加



② 技術革新（スマート農業）

- ・収穫支援ロボット
- ・ドローンによる農薬散布
- ・選果工程の自動化研究
- ・冷蔵熟成による糖度向上



③ 文化・観光・PR

- ・「和栗茶事」日本文化醸成
- ・百貨店催事
- ・メディア露出●社以上
- ・大学連携プログラム



④ 森づくり

- ・生物の多様性
- ・森林環境保全
- ・温暖化
- ・Jクレジット



2022

2023

2024

2025

2026

2027

» 2022.07 PROJECT START

» 2025.02 WAGURI COUNCIL START

- ▷地域共創PJ始動
- ▷勉強会
- ▷掛川栗試食会
- ▷毎月事務局MT
- ▷収穫祭①
- ▷WAGURIフォーラム①



- ▶栗部会説明会
- ▶遠鉄催事出店
- ▶JMS軽トラ市出店
- ▶全国軽トラ市出店
- ▶行政広域連携
- ▶農協広域連携
- ▶全国産地視察
- ▶植樹祭①
- ▶収穫祭②
- ▶WAGURIフォーラム②



- ▷事務局体制5部会設立
- ▷産地広域連携
- ▷園地巡回・農地カルテ化
- ▷駐日インド大使館
- ▷農業法人設立
- ▷学生プロジェクト
- ▷和栗茶事@北の丸
- ▷インド視察
- ▷全国モンブランコンテスト
- ▷植樹祭①
- ▷収穫祭③
- ▷WAGURIフォーラム③



- ▶（一社）和栗協議会設立
- ▶大阪万博出展
- ▶大阪万博和栗茶事
- ▶熟成焼栗ペースト商品化
- ▶カンヌ国際映画祭
- ▶大学連携カリキュラム化
- ▶フランス・コルシカ交流
- ▶生産者フォーラム
- ▶三菱地所日本の食卓会議
- ▶植樹祭②
- ▶収穫祭④
- ▶WAGURIフォーラム④



- ▷森づくり部会発足
- ▷和栗協議会東京支部発足
- ▷生産基盤整備への支援
- ▷スマート農業の促進
- ▷貯蔵・加工インフラ整備
- ▷輸出支援
- ▷教育・大学連携支援
- ▷ピクニックランチ
- ▷輸出に向けたモデル圃場



▶ 産地視察



KUMAMOTO YAMAGA
熊本 山鹿市



ISHIKAWA NOTO
石川 能登町



HOKKAIDO KURIYAMATYO
北海道 栗山町



HYOGO TANBASASAYAMA
兵庫 丹波篠山



GUNMA MAEBASHI
群馬 前橋市



FUKUSHIMA KORIYAMA
福島 郡山市



IBARAKI KASAMA
茨城 笠間市



MIYAZAKI KOBAYASHI · MISATO
宮崎 小林市 · 美郷市



EHIME UCHIKOTYO
愛媛 内子町



KOCHI SHIMANTO
高知 四万十市



GIFU ENA · NAKATSUKAWA
岐阜 恵那市 · 中津川市



SHIZUOKA ENSHU
静岡 遠州



▶事業報告書（2022年度）

Apr.

May.

Jun.

Jul.

Aug.

Sep.

Oct.

Nov.

Dec.

Jan.

Feb.

Mar.



第1回
事務局
MT

第2回
事務局
MT

第3回
事務局
MT

第4回
事務局
MT

第5回
事務局
MT



<栗勉強会開催>

日時 2022年7月20日（火）14：00～16：00

場所 春華堂浜松工場（静岡県浜松市浜北区染地台6-8-7）

- JA静岡経済連、JA掛川市による掛川栗の歴史と生産者の課題
- ・栗の生産状況 世界、国内、掛川の近年の生産状況について
- ・栗の特徴 樹齢別収量、収穫、植樹など栗の生産について
- ・国内の栗状況 県別収穫量について
- ・国内品種特徴 品種別の品質、味、収量について
- ・栗の環境概況 就労年齢、土壌、面積あたりの農産物売上比較表
- カルティベート 藤本様による栗にまつわるトレンド

<栗収穫会開催>

日時 2022年9月9日（金）10：30～12：00

場所 早川栗園（静岡県掛川市上垂木1116）

- 栗収穫体験
- ・早川様講義 生産者の栗収穫方法を体験
- ・栗収穫 課題感の洗い出し
- ・毬剥き機 機械化の必要性（労働性、面積拡大、作業効率化）
- ・栗ブレイクタイム 松下園のお茶、栗むし羊羹、天糰
- 各社のミッション及び課題解決への取り組みの検討

<栗食べ比べ試食会開催>

日時 2022年10月11日（火）12：00～14：30

場所 nicee（静岡県浜松市浜北区染地台6-7-11）

- 和栗品種（筑波・銀寄・八高・利平・ぼろたん）食べ比べ
- ・栗ペースト（国産・海外）の食べ比べ
- 掛川栗×国内のトップシェフによる料理試食
- ・掛川栗「銀寄」 いっ木の一木シェフ考案の栗茶碗蒸し
- ・掛川栗「利平」 ASTERISQUE和泉シェフ考案のフィナンシェ
- ・掛川栗「筑波」 コートヤードキッチン薫森シェフ考案のパスタ
- ・掛川栗 Sincere石井シェフ考案のモンブラン

<栗フォーラム&ディナー開催>

日時 2023年3月9日（木）17：00～21：30

場所 浜北工場/nicee（静岡県浜松市浜北区染地台6-7-11）

- 2023年度計画
- ・各社ミッション及び年間計画の発表
- 掛川栗×国内のトップシェフによる栗フルコース
- ・LA CASA DI Tetsuo Ota 太田シェフ
- ・いっ木 一木シェフ
- ・コートヤードキッチン 薫森シェフ



▶事業報告書（2023年度）Vol.1



Apr.

May.

Jun.

Jul.

Aug.

Sep.

Oct.

Nov.

Dec.

Jan.

Feb.

Mar.

第6回
事務局
MT

第7回
事務局
MT

第8回
事務局
MT

第9回
事務局
MT

第10回
事務局
MT

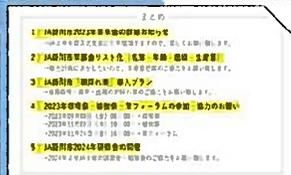
第11回
事務局
MT

第12回
事務局
MT

第13回
事務局
MT

第14回
事務局
MT

第15回
事務局
MT



<掛川栗部会開催>

日時 2023年7月12日（水）14：00 - 15：30

場所 JA掛川市本所2階大会議室（静岡県掛川市千羽100-1）

■プロジェクト主旨説明

- ・年間計画発表
- ・初年度取引単価
- ・部会リスト
- ・研修会の開催

■掛川市栗部会 約50名

*例年10名程度

<植樹祭&FALO PARTY開催>

日時 2023年11月13日（月）15：15 - 17：00

場所 早川栗園（静岡県掛川市上垂木1116）

■50本の植樹実施

- 軽トラ市：熟成焼き栗
- 宣伝販売：プロジェクト発信
- 機 械：作業支援ロボット
- 苗 木：浜松いわた信用金庫寄贈
- 食 事：BBQ協会

■合計100名の生産者/関係者・合計30社のメディア露出

<栗収穫祭開催>

日時 2023年9月14日（木）6：00 - 8：00

場所 掛川市生産者栗園 弓桁栗園（静岡県掛川市大和田348）

■朝採れ栗の収穫体験

尺八やハーブの生演奏と共に朝採れ和栗の収穫体験

収穫⇒毬剥き⇒選別までの農作業を実施

メディアによる広報取材の場を初めてご用意

<催事出店開催>

全国各地のイベント・催事参加

日時 2023年10月21日（土）

内容 岐阜県恵那市 栗フェス

日時 2023年11月3日（土）

内容 遠鉄百貨店 日本の味名品展「栗」特集

日時 2023年11月3日（土）

内容 ジャパンモビリティショー

日時 2023年12月3日（日）

内容 全国軽トラ市



▶事業報告書（2023年度）Vol.2



Apr.

May.

Jun.

Jul.

Aug.

Sep.

Oct.

Nov.

Dec.

Jan.

Feb.

Mar.

第6回
事務局
MT

第7回
事務局
MT

第8回
事務局
MT

第9回
事務局
MT

第10回
事務局
MT

第11回
事務局
MT

第12回
事務局
MT

第13回
事務局
MT

第14回
事務局
MT

第15回
事務局
MT



<WAGURI DINNER開催>

日時 2024年2月27日（火）18：30－21：00

場所 掛川グランドホテル（静岡県掛川市亀の甲1丁目3-1）

- 行政広域連携 8市1町の市長
（湖西・浜松・磐田・森町・袋井・掛川・菊川・御前崎・牧之原）
- 農協広域連携 4JAの組合長
（JA静岡経済連・JA掛川市・JA遠州中央・JA遠州夢咲）
- 産地広域連携 8産地
（熊本県・宮崎県・愛媛県・高知県・岐阜県・茨城県・福島県）
- 合計200名の企業経営層・合計30社のメディア露出

<JA遠州夢咲説明会開催>

日時 2024年4月15日（月）

場所 JA遠州夢咲

- 営農部対象のプロジェクト説明会
24年度お茶から転換の強化品目に粟を認定指定
<第一回 生産部会>

日時 2024年4月18日（木）

場所 春華堂浜北工場

- ①3JA関係づくり・連携 ②植樹等増産の為の施策実施
③栽培/剪定技術向上支援

<WAGURI FORUM開催>

日時 2024年2月28日（水）10：00－12：00

場所 掛川グランドホテル（静岡県掛川市亀の甲1丁目3-1）

- 基調講演1 佐賀県嬉野市 和多屋別荘 小原嘉元氏
「リジェネラティブ～嬉野に学ぶ地域資産価値倍増の未来」
- 基調講演2 石川県能登市 松尾栗園 松尾和広氏
「栗愛で極める加工・熟成・栽培の世界」
- 計画・報告会 JA掛川市 吉政諒、JA静岡県経済 藤川俊朔
「JAグループ和栗計画・報告」
- 合計150名の生産者・関係者

<スズキ試食会>

日時 2024年4月24日（水）

場所 SUZUKI本社

- インド市場リサーチ_インド人従業員対象試食会
～試食内容～
- ・チャイパイ×抹茶dip ・バルミエチャイパイ
- ・カレーパイ×パプリカ&豆乳燻製クリームdip
- ・うなぎパイ ・ウォーターガナッシュdip ・パイベジ2種



▶事業報告書（2024年度）Vol.1



Apr.

May.

Jun.

Jul.

Aug.

Sep.

Oct.

Nov.

Dec.

Jan.

Feb.

Mar.

第16回
事務局
MT

第17回
事務局
MT

第18回
事務局
MT

第19回
事務局
MT

第20回
事務局
MT

第21回
事務局
MT



<台湾領事館 帳処長様 天竜浜名湖線社長ご紹介>

日時 2024年5月14日（火）場所：ウェルシーズン浜名湖

<グローバルデザインスクール 代表取締役 大竹様>

日時 2024年6月15日（土）場所：横浜 ■県庁絡みの交付金事業についての打合せ

<栗新規栽培者向け講習>

日時 2024年7月11日（木）場所：JA掛川市本所

<インド大使館レセプション>

日時 2024年5月16日（木）場所：駐日インド共和国大使館

■インド・日本パートナーシップ：静岡ディ

静岡県地域外交局主催事業の交流会参加（100名規模）インド市場事前リサーチ

<浜松まつり 凧揚げ能登復興支援プロジェクト>

日時 2024年5月3日（金）場所：浜松まつり

■能登・珠洲 復興願う応援凧（松尾栗園 松尾氏）※浜松市長より招待

<立命館大学訪問>

日時 2024年5月28日（火）場所：立命館大学滋賀キャンパス

■食マネジメント学部 和栗のエビデンスづくりご相談

<アトラックラボ訪問>

日時 2024年6月3日（月）場所：埼玉県寄居町

株式会社アトラックラボ代表取締役伊豆様

■栗拾い用ロボットアームの視察・和栗PJ技術部会との関係値構築

<Roots訪問>

日時 2024年6月9日（日）場所：福島県猪苗代湖 Roots取締役長谷川様

■産地連携による生産拡大（2,000本）のための協議 園地見学・土壌調査
上戸・湊志田集落資源保全会意見交換会

<笠間市栗協議会研修視察開催>

日時 2024年6月24日（月）25日（火）場所：遠州・和栗プロジェクト

■茨城県笠間市役所

儲かる笠間の栗産地づくり協議会 15名

①遠州和栗プロジェクトの取組に関する講話と圃場見学

②加工面での視察として、うなぎパイの工場見学並びにスイーツバンクの施設見学

<園地訪問>

日時 2024年6月6日（木）26日（木）場所：掛川市

■デジタルリスト化に向けての現地視察・栗農家様関係値構築

■松尾様栽培園地候補の視察→結果：栗栽培に適さない土壌

<候補地視察>

日時 2024年7月22日（月）場所：袋井市岡崎

■参加者：静岡県農業振興公社菊地様・水口様、中遠生産振興課服部様、袋井市農業委員会松本様、袋井市農政課鈴木様・鶴見様・久野様

荒廃農地再生・集積促進事業（補助金）についての打ち合わせ

①袋井市岡崎2.2h茶畑視察②補助金説明③今後の手続きについて



▶事業報告書 (2024年度) Vol.2



Apr.

May.

Jun.

Jul.

Aug.

Sep.

Oct.

Nov.

Dec.

Jan.

Feb.

Mar.

第16回
事務局
MT

第17回
事務局
MT

第18回
事務局
MT

第19回
事務局
MT

第20回
事務局
MT

第21回
事務局
MT



<24時間テレビ取材>

日時 2024年6月18日 (火) 場所: 春華堂浜北工場

■06月18日 (火) 日テレ「24時間テレビ」取材
松尾栗園松尾様の密着取材にて、春華堂浜北工場での焼き栗実演並びに社内MT撮影
<天竜二俣貯蔵庫に向けて>

日時 2024年6月20日 (木) 7月9日 (木) 場所: 天竜二俣

■06月20日 (木) 天竜商工会事務局長ツアー@天竜
和栗の貯蔵場所・天竜二俣構想の関係値づくり。天竜区長、地域主要団体へ訪問挨拶
■07月09日 (木) 天竜エコテラス施設見学@天竜
中村建設松浦様ご紹介 2024年4月から稼働のエコテラス見学

<JA掛川市栗部会生産者園地視察>

日時 2024年6月-8月 場所: 掛川市

■デジタルリスト化に向けての現地視察・栗農家様関係値構築
06月26日 (水) 7月31日 (水) 08月02日 (金) 08日 (木) 27日 (火) 29日 (木)
<第17回事務局MT>

日時 2024年7月17日 (木) 場所: JA掛川市本所

■07月12日 (金) 技術部会@浜北 農作業の中の課題抽出、今後の取り組み検討
■07月17日 (木) 第4回生産部会@JA掛川市本所 掛川の栗園の生育状況
■07月17日 (木) 第17回事務局MTG@JA掛川市本所 ※静岡第一テレビ松尾様取材
各部会からの報告、協議会設立に関して、スタディーツアー・茶事

<静岡製機様訪問>

日時 2024年8月26日 (月) 場所: 静岡製機袋井本社 (静岡県袋井市諸井1300)

■メディアトーク近藤様ご紹介にて、栗の鬼皮剥き機の可能性視察

<浜松ホトニクス代表取締役丸野様訪問>

日時 2024年8月20日 (火) 場所: 静岡県浜松市中央区砂山町325-6

<加和太建設株式会社訪問>

日時 2024年8月9日 (金) 場所: 加和太建設株式会社本社

<フィリピン大使館・台湾悵様訪問>

日時 2024年8月2日 (金) 場所: フィリピン大使館

■和栗の世界に向けて意見交換会

<アミューズ中西社長来浜>

日時 2024年8月1日 (木) 場所: 遠州・和栗プロジェクト

■遠州・和栗プロジェクトの参画企業訪問
SUZUKI資料館、ローランド浜松研究所、掛川栗園地
遠州・和栗プロジェクトへの共感と取り組み共創

<浜松市主催インドフェス参画>

日時 2024年9月14日 (土) 場所: 新川モール

■インドはままつフェスティバル実行委員会 浜松市、SUZUKI株式会社
浜松で心躍る異国体験をインドの魅力味わう伝統と文化の祭典
和栗の世界輸出に向けて販路開拓



▶事業報告書（2024年度）Vol.3

Apr.

May.

Jun.

Jul.

Aug.

Sep.

Oct.

Nov.

Dec.

Jan.

Feb.

Mar.

第16回
事務局
MT

第17回
事務局
MT

第18回
事務局
MT

第19回
事務局
MT

第20回
事務局
MT

第21回
事務局
MT



<石川県能登栗収穫視察>

日時 2024年9月-10月 場所：石川県能登町

■松尾栗園栗収穫 収穫・洗浄・一次選別・二次選別

POINT) 目視選果は難しい 病斑、虫被害跡を見極めるのは難しく技術開発の課題有

<JA遠州夢咲>

日時 2024年8月9日(金) 9月12日(木) 場所：JA遠州夢咲

■JA遠州夢咲強化品目推進

遠州・和栗プロジェクト説明会 対象：茶業者

内容：工場見学+遠州・和栗プロジェクト説明

目的：茶生産者が和栗栽培を始めるきっかけ作り、取引先の春華堂への理解

<タぎりの和栗茶事2024>

日時 2024年9月18日(水) 場所：葛城北の丸

■目的

- ①【茶と栗】唯一無二のおもてなし文化＝「茶事」で世界へ。
- ②【日本の素材を海外VIPに】知らしめる。格式ある人に格式高くもてなす国際儀礼
- ③【和栗協議会】設立へ。

■和栗を使用した商品お披露目

- ①和栗チャイ
- ②和栗ケイク

<立教大学スタディツアー>

日時 2024年9月13日(金) 14日(土) 場所：遠州・和栗プロジェクト

■有限会社春華堂 内容：うなぎパイ職人から学ぶモノづくりの価値

■ローランド株式会社 内容：最新のテクノロジーで音楽の魅力を高める

■ヤマハ発動機株式会社 内容：地域と歩むヤマハロボティクス

■スズキ株式会社 内容：歴史館から学ぶモノづくりの歴史

■早川栗園 内容：農業という日本の一次産業の魅力

■JA掛川市 内容：遠州・和栗プロジェクトからみるJA連携

■SMHD 内容：なぜ製造業がまちづくりに携わるのか

■インドフェス 内容：日本のモノづくりが結ぶ世界との架け橋

<石屋製菓視察開催>

日時 2024年9月24日25日26日 場所：天竜二俣・スズキ歴史館・春華堂

■全国菓子ネットワーク

遠州・和栗プロジェクト、天竜二俣構想・一次産業保全活動・酪農林業交換出向制度

<技術部会開催>

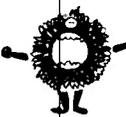
日時 2024年10月7日(月) 場所：春華堂浜北工場

■技術部会メンバーによる栗剥き機作業見学

目的) 栗の鬼皮むきの省人化・自動化

①ベース車両を使い倒しているような支援 ②渋皮剥き作業の改善 ③選果の合理化

実証実験計画：1)サイズ・重量 2)品質穴あき病気 3)糖度・付加価値



▶事業報告書 (2024年度) Vol.4



Apr.

May.

Jun.

Jul.

Aug.

Sep.

Oct.

Nov.

Dec.

Jan.

Feb.

Mar.

第16回
事務局
MT

第17回
事務局
MT

第18回
事務局
MT

第19回
事務局
MT

第20回
事務局
MT

第21回
事務局
MT



日時 2024年10月2日 (火) /インド@デリー
 <安寿旅館> CEO Prakash(プラカーシュ)氏、SUZUKI MAYUR(マユール)氏
 <CoCo壺番屋 サイバーハブ店 > インド三井物産(株)流通事業部藤井氏/斉藤氏
 <手嶋氏とミーティング @ ITC マウリヤ>
 日時 2024年10月4日 (木) /インド@ベンガルール
 <バーラット X ミーティング> CEOジンダル氏、スズキ生水口氏
 ・ハイデラバード工科大学 (IITH) での商品モニタリングが可能。
 <楽天エンタープライズ> シャマン氏
 ・楽天インドは利益追求ではなくGCCの役割を担う。

日時 2024年10月4日 (木) 5日 (金) /インド@ベンガルール
 <播磨-HARIMA ヴィノド氏 (オーナー) & 小杉氏 (シェフ)>
 <Pizza 4P's (ピザフォーピース)>
 <フォーシーズンズホテルベン與那覇シェフ >
 日時 2024年10月5日 (金) /インド@ベンガルール
 <マルチ・スズキ販売ディーラー> ディーラー: インド国内9位の上位店
 ・マルチスズキはインドの車シェア約50%。販売店3,900店舗+関連5,000店舗
 ・車購入時には、購入者が家族や友人にお菓子を振る舞う文化あり。
 →富裕層クラスに向けたギフトやディーラーのお配り菓子に。SUZUKIロゴ〇



<技術部会作業支援ロボットデモンストレーション>
 日時 2024年10月28日 (月) 場所: リサイクルクリーン栗園場
 <青山学院大学プロジェクトデザイン授業>
 日時 2024年10月30日 (水) 場所: 青山学院大学
 <企業版ふるさと納税 贈呈式>
 日時 2024年10月31日 (木) 場所: 掛川市役所
 浜松いわた信用金庫・有限会社春華堂
 <栗加工場指導>
 日時 2024年10月場所: 佐野ファーム

<全国モンブランコンテスト>
 日時 2024年11月16日 (土) 場所: 熊本県山鹿市
 茨城県・京都府・岐阜県・長野県・静岡県・高知県
 <ブルーレイクプロジェクト共創プロジェクト>
 日時 2024年12月15日 (日) 場所: 三ヶ日市
 <アミューズ本社訪問>
 日時 2024年12月23日 (月) 場所: 山梨県



▶事業報告書 (2025年度) Vol.1



Apr.

May.

Jun.

Jul.

Aug.

Sep.

Oct.

Nov.

Dec.

Jan.

Feb.

Mar.

第22回
事務局
MT

第1回
理事会

第23回
事務局
MT

第24回
事務局
MT

第25回
事務局
MT

第2回
理事会

第26回
事務局
MT

第27回
事務局
MT



2025年01月10日 電通報インタビュー 青山学院大学×春華堂共創PJ
 2025年01月13日 しまんと第一次産業株式会社様 視察
 2025年01月13日 四万十ドラマ様 打合せ・工場視察
 2025年01月15日 第20回事務局MT開催
 2025年01月23日 ありあけハーバー様
 和栗PJとの共創 共同商品開発などの協議打合せ
 2025年02月03日 経産省事業の参加事業者向けの交流会 和栗PJの紹介
 2025年02月10日 和栗フォーラム&ディナー
 一般社団法人和栗協議会設立 設立総会開催

2025年02月11日 青山学院大スタディツアー 栗農家視察他
 2025年02月11日 地球の歩き方様 和栗商品の試食会を兼ねた打ち合わせ
 クレームシュニテ、ブリオッシュ
 コンジェラート、ノムアーカオ
 2025年02月12日 首都圏企業立地セミナー
 静岡県の製造業とスタートアップとの協業事例の紹介
 HarvestX株式会社 市川友貴様/モデレーター 西村真里子様
 paramita様 和栗PJ紹介
 2025年02月21日 立正大学 スタディツアー実施

2025年03月05日 株式会社ジェヌインR&D様 栗の残渣を利活用化粧品開発
 2025年03月12日 第21回事務局MT開催
 2025年03月13日 西村真里子様 和栗協議会への参画打合せ
 2025年03月19日 立教大 石渡先生 9月実施のスタディツアー打合せ
 2025年03月25日 大阪・関西万博 和栗キッチンカーSUZUKI共同開発
 2025年04月13日 大阪・関西万博開幕 和栗協議会出展
 2025年04月15日 タイミー石橋様、TeaRoom岩本様 万博茶事の打ち合わせ
 2025年05月14日 カンヌ国際映画祭 ジャパンナイト
 2025年05月21日 第22回事務局MT開催

2025年05月31日 小牧醸造 栗の木で作った樽
 2025年06月04日 旭川菓子博 静岡県PRステージ 和栗PJ紹介
 2025年06月05日 北海道 水上農園(栗町) 栗のお話、商品説明、栗の圃場
 2025年06月06日 大阪・関西万博 静岡県ブース 和栗キッチンカー
 2025年06月09日 一般社団法人和栗協議会 第一回理事会開催
 2025年06月14日 大阪・関西万博 テーマウィーク登壇
 2025年07月02日 大阪・関西万博和栗茶事 2~6日 全10回開催
 有働由美子様、SUZUKI、熊倉様、ありあけ、静岡県
 MEGUMI様、ローランド、浜松市、SALA、リボン食品



▶事業報告書（2025年度）Vol.2



Apr.

May.

Jun.

Jul.

Aug.

Sep.

Oct.

Nov.

Dec.

Jan.

Feb.

Mar.

第22回
事務局
MT

第1回
理事会

第23回
事務局
MT

第24回
事務局
MT

第25回
事務局
MT

第2回
理事会

第26回
事務局
MT

第27回
事務局
MT



2025年07月02日 万博茶事オープニングセレモニー夢洲新産業・都市創造機構
 2025年07月08日 河合塾様 スタディツアーについて
 2025年07月09日 平野興産様 打合せ
 2025年07月11日 第23回事務局MT開催
 2025年07月14日 サーラ×春華堂共創PJ 東三河トライアルツアー
 2025年07月26日 TECHBEATSHIZUOKA登壇
 春華堂×アーツカウンスルしずおか×JETRO
 2025年08月05日 サーラ×春華堂共創PJ 遠州トライアルツアー
 2025年08月21日 静岡市難波市長、島村様 和栗PJ紹介

2025年09月16日 COIU様訪問 SMBC様紹介
 2025年09月18日 第24回事務局MT開催
 2025年09月19日 東三河FOODDAYS "クロストーク 作り手×???
 農業の可能性は∞!?老舗企業がクリ拡げる今後目指す
 未来とは?" 春華堂の食への想いをディスカッション"
 2025年09月20日 袋井市小学生劇団月のうさぎ和栗体験
 塚本栗園にて栗収穫体験ニコエガーデン(栗選果/焼栗見学)
 2025年09月25日 WAGURI開発レセプション 和栗協議会開発レセプション
 2025年09月28日 フランス・コルシカ島表敬訪問・視察

2025年08月27日 三井住友銀行様 天竜二俣構想
 2025年09月01日 K-MIXラジオ出演 和栗協議会の説明
 2025年09月02日 トーマツ様 和栗協議会について
 2025年09月05日 Jパワー様 和栗PJ、スタディツアー
 2025年09月08日 笠間市役所様 情報交換会(ご挨拶)
 2025年09月08日 アドバンスフォース 六次化法人、見学+栗スイーツ
 2025年09月08日 ふかさわ農園 栗の圃場見学
 2025年09月10日 3大学合同スタディツアー (~9/12)
 立命館大学、立正大学、立教大学

2025年10月04日 笠間新栗まつり 催事出店 栗蒸し羊羹販売
 2025年10月04日 恵那栗フェス 催事出店
 2025年10月10日 法政大学スタディツアー (3日間)
 2025年10月15日 生産者フォーラム 第一部
 2025年10月15日 生産者フォーラム 第二部
 2025年10月16日 慶應義塾大学 理工学部様 和栗プロジェクト紹介
 2025年10月18日 SUZUKI秋まつり2025in本社 催事出店 焼き栗他
 2025年10月22日 青山学院大学×電通×春華堂共創PJ
 2025年10月30日 SANU様 和栗PJ紹介



▶事業報告書（2025年度）Vol.3



Apr.

May.

Jun.

Jul.

Aug.

Sep.

Oct.

Nov.

Dec.

Jan.

Fev.

Mar.

第22回
事務局
MT

第1回
理事会

第23回
事務局
MT

第24回
事務局
MT

第25回
事務局
MT

第2回
理事会

第26回
事務局
MT

第27回
事務局
MT



2025年11月03日 三遠南信しんきんサミット催事出展：WAGURIジェラート
 2025年11月08日 ジャパンモビリティショー 催事出店：焼き栗他
 2025年11月11日 三菱地所主催めぐりめぐり日本の食卓会議2025
 「和栗を起点に、一次産業から日本を元気にする」
 株式会社乃村工藝社乃村隆介/株式会社ロッテ北村考志
 株式会社GOODNEWS宮本吾一/有限会社いろは堂伊藤拓宗
 2025年11月12日 第25回事務局MT開催
 2025年11月19日 一般社団法人和栗協議会 第2回理事会開催
 2025年11月19日 遠鉄百貨店栗催事

●●

●●

●●



時代は変化しても「和栗」の価値は浸透 ▶ 「和栗」はどの時代に衰退をしたのか

縄文時代



日本における「和栗」は「お米」以前の約5千年以上前の縄文時代に栽培が開始（諸説あり）
貴重な栄養源として、庶民に愛されたこと。その愛が謝や畏敬の念に変わり、信仰の対象としても取り扱われるようになりました。祭祀用の建物には栗の木が使われ、節目となる行事（正月など）には栗を食するように（現在もその文化は継続）。尖石遺跡や三内丸山遺跡から多くの栗が発掘

江戸時代



その後、時代は戦国時代に変化しても、保存食であった「かち栗」の栄養価や「勝ち」につながる縁起の良さに戦国の武将 目を留め、栗の栽培を奨励し、出征する兵士に持たせ、志気を高める事に使われていた。現代よりもはるかに「栗」が社会に価値を提供し、人々の暮らしに近い品であったことが伺える。献上栗として、高級品として扱われていた。

明治時代



明治時代以降、中国原産の中国栗（甘栗）の栽培が日本各地で試みられるようになりました。
しかし、日本の気候が合わなかったり、クリタマバチという害虫の被害を受けやすかったりすることが原因で、日本原産の栗にも影響を与えました。中国から侵入し、昭和16年に岡山県で初めて発見され、日本原産の栗は既に国内各地で様々な品種が栽培されていましたが、クリタマバチが急速に全国に蔓延したことで多くの品種が失われました。

昭和時代



昭和時代以降、和栗の栽培がパイロット事業として農業構造改善を目的に日本各地で試みられるようになりました。
だが、日本の産業構造の変化が起こり、線路の枕木に栗の木が使用されたりと産業の発展に反比例の動きとなる。栗の木は非常に硬く強靱で、水湿にも強く、保存性に優れていることから、過酷な環境下におかれるレールの枕木にはうってつけの材料だった。また、木材の天敵は「腐食」「虫害」ですが、栗はこの二つに強いからです。

現代



そして、現代では、生産者の高齢化が進み、農業業界全体が衰退産業になりました。
日本の農業には、農家の高齢化や人手不足、耕作放棄地の増加、TPPによる競争激化といった課題が数多くあります。そこで、和栗協議会では、スマート農業の推進や農地、経営の大規模化、農作物のブランド化など、社会全体で農業（一次産業）の課題を解決していき支えていく仕組みづくりを地域と共創し、「和の精神」を生む。

世界四大栗



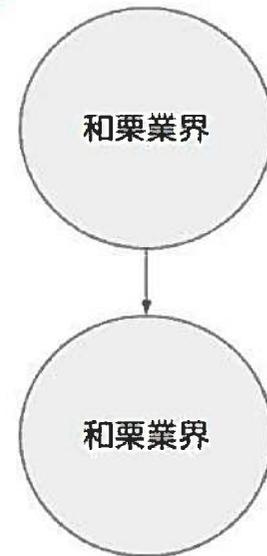
Wagri3.0 関係人口増加＝「和栗」を中心としたコミュニティ

関係人口増加のために「和栗」に関する教育やファン化が必要＝包括的コミュニティの構築
 各業界と「和栗」の文脈づくりのために和栗協議会を通じて、イノベーションを創造していく必要がある
 多様な主体が地域・社会・地球の課題解決のために、情報、知識、技術などを共有し、新たな時代の「和栗」の価値の創出
 「公の精神」を持ち、既存の枠組みや壁を無くしていき、将来の日本の枠組みを考えていく。

社会全体で農業(一次産業)の課題を解決していき支えていく仕組みづくりが重要

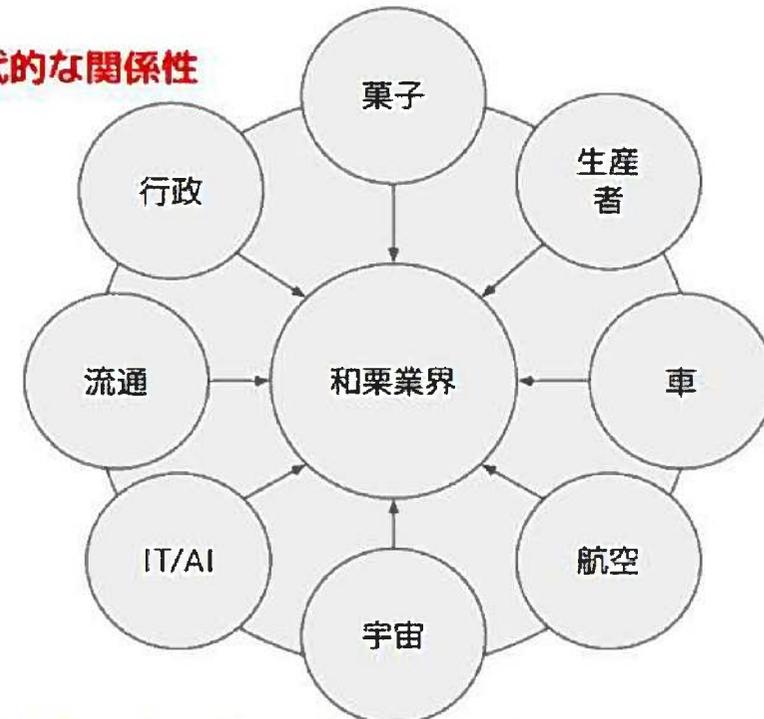
Wagri3.0

旧時代的な関係性



業界が業界を支える構図ではなく

新時代的な関係性



社会全体でその産業を支えていくエコシステム



HAVING FUNをどう創造していくか＝農業の課題解決

過去



農業＝衰退産業

3K「キツイ・汚い・危険」
稼げない仕事

現在



共創＝異業種連携

世界の富裕層に向けて
高いステータスを持って伝えていく

未来



文化＝関係人口の増加

新3K「稼ぐ・効率化・簡略化」
憧れる仕事

全く文脈のなかった様々な業界の団体が参画することで、日本の農産物の原石「和栗」の魅力を共有し、仲間に、ファンになっていただくことで、この産業の課題を自分ごとと化し、ともに行動してくださる方々を増やすことが我々に課せられたミッションであり、生産者の収入を劇的に変えていく責任がある。



▶2026年度組織体制



▶事業計画（生産部会）



■生産部会（中村）

- 和栗協議会におけるJA広域連携の窓口と働きかけを行う推進活動
和栗協議会及び栗生産者の生産量及び販売金額計画・管理
協議会・講習/勉強会コントロールし、予算立てを計画し、生産者支援・栽培従事者の拡大
生産者リストのデジタル化を図り、生産販売一体として見える化を実現
掛川モデルを構築して、全国産地への横展開並びに広域ネットワークの検討
- 毎月の講習・勉強会・研修の実施⇒未来型果樹産地育成
 - 栽培・試験研究
 - 生産者リストのデジタル化
 - 生産者の栽培支援・栽培マニュアルの制定・栽培就農者拡大活動
 - 生産者の品評会開催（参画団体広報連携）
 - 和栗を遠州地域JAでの取扱品目に向けて検討
 - 産地交流・産地視察



和栗栽培情報のデジタル化



持続発展的な和栗産地形成
生産者の営農支援・技術支援



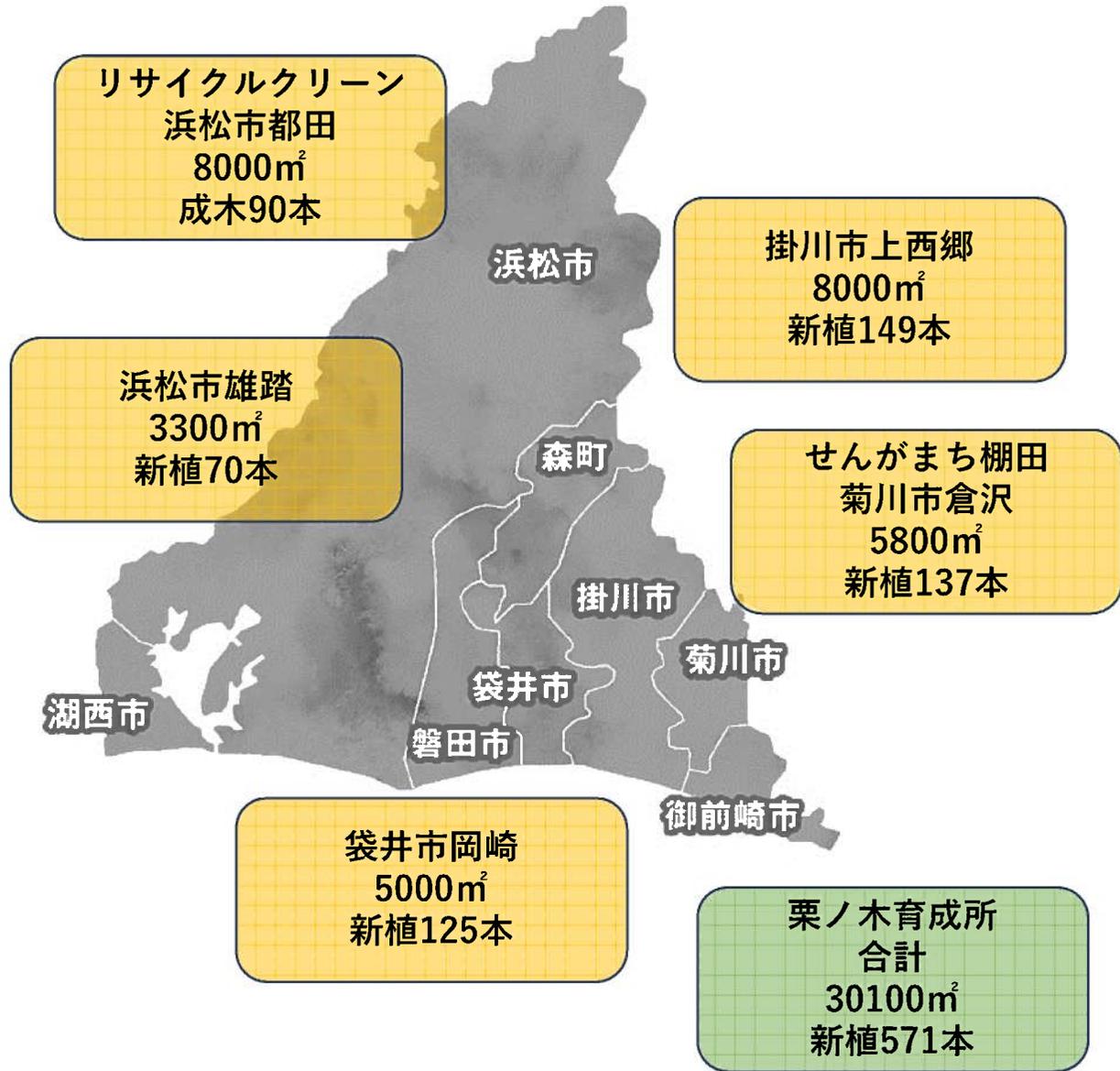
生産者・産地交流





▶農業法人 栗ノ木育成所 事業概要

・目標：反収300kg・60年収穫



	2025年度 (1年目)	2030年度 (6年目)	2034年度 (10年目)	2044年度 (20年目)
栽培	栽培面積 2.5ha 栽培本数 625本 収穫量 0	栽培面積 15ha 栽培本数 3750本 収穫量 1.2 t	栽培面積 15ha以上 栽培本数 3750本以上 収穫量 22 t	栽培面積 15ha ↑ 栽培本数 3750本 ↑ 収穫量 45 t ↑



▶事業計画（研究部会）



■研究部会（丹羽）

海外輸出（ビーガンやハラール対応できる世界共通の品目）に向けた完全健康食開発のエビデンス作り
遠州の教育機関との連携・関係性を創造し、産官学連携の基盤を構築

輸出認証、環境系認証、健康系認証、SDGs系認証マークなどの安心・安全の根拠研究

和栗の栄養素の研究による血糖値などの健康面でのストーリーを構築し和栗のブランディング

貯蔵・熟成による糖度計測を行っていき、栗の新しい規格を構築して、和栗の付加価値を創る

温度調節による農産物の熟成技術開発（例：温度調節可能な冷蔵&倉庫）

園地の土壌・樹木・葉脈より、栗の品質・収量のシュミレーション研究

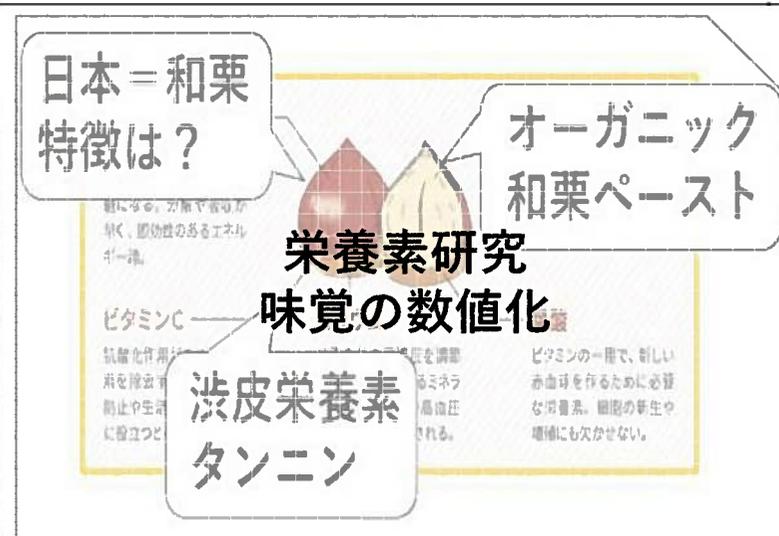
○研究役割分担の明確化

○教育機関並びに医療機関との関係構築及び各機関の研究テーマの決定

○和栗の1) 貯蔵・熟成研究 2) 栄養素研究 3) 血糖値研究 4) 園地の土壌・樹木・葉脈研究

○和栗協議会ペーストエビデンス

○貯蔵・熟成施設の選定



糖度



○生栗（収穫）

- 1 必ず毎日日の出から収穫
- 2 当日収穫栗 > 前日収穫常温保存栗
→ 次の日浮きぐりになる
- 3 呼吸をすることで糖が減る → 糖度が下がる
- 4 呼吸速度と温度は相関関係 * 15度以上NG
- 5 選果は12時までに行う

○熟成栗（冷蔵）

- 1 糖分解を活性化
- 2 温度が低ければ低いほど呼吸を抑制
- 3 冷蔵庫内温度 栗表面 - 3℃ 中心 - 1℃
- 4 熟成期間30 - 60日
→ 冷蔵熟成は難しい
- 5 温度管理が重要



生栗糖度

熟成栗糖度

熟成焼栗糖度

能登栗

12.0%

24.0%

36.0%

能登栗 + 2.7%

能登栗 + 3.6%

能登栗 + 3.6%

掛川栗

14.7%

27.6%

39.6%

※熟成期間：29日

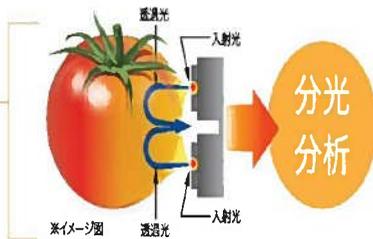
※熟成期間：40日



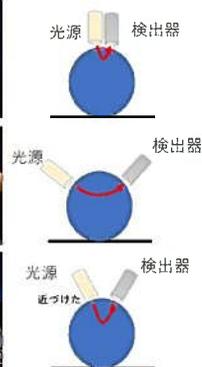
元 石川県能登
松尾栗園 松尾和広氏

* 平均値 n=10

株式会社クボタ
青果物非破壊糖度計
フルーツセクタ



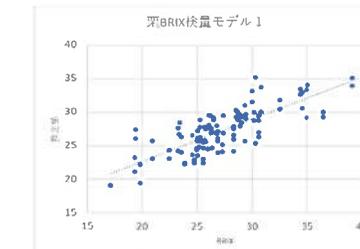
この技術はクボタのKSAS対応コンバインに搭載されている
食味センサや穀物乾燥機の水分計にも応用されています。



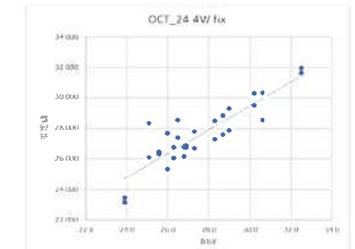
パラレル計測仕様
(リンゴなどの糖度計測の仕様)
光が奥まで入らない、表面のみ計測

V字レイアウト仕様
(イモ類等難透過物の計測の仕様)
光が奥まで入らない

V字レイアウト強化仕様
(集光と距離配置の最適化)
辛うじて光が奥まで入るスペクトルの計測を実施
光源 → 5W・ハロゲンランプ
計測 → HPKミニ分光器・C9505
(波長範囲 600-1000nm)



10/24,25,30,31の計測データ解析 (110データ)
相関：0.79 平均誤差：2.6
相関は見られるが、まだ誤差が大きい



10/24の計測データ解析 (30データ)
相関：0.88 平均誤差：1.1
1日だけのデータに関しては、相関が高くなる
誤差も小さくなる

別のパラメータ (例：保管日数、重量変化率) で補正することで、
精度が上がる可能性がある



▶事業計画（技術部会）



■技術部会（齋藤）

生産効率の向上に向けて、技術面での実証実験を行い、生産者の負担を軽減する技術開発
作業支援ロボットによる生産者が抱える労働環境の課題を解決

モビリティによる農産物の物流支援（例：冷蔵配送やドローンによる配送）

栗の実以外（穂・枝・葉・花・皮等）を再利用した廃棄物を再利用技術開発

森林環境保全（スギ花粉軽減対策・鳥獣対策・害虫対策）の為の林業従事者への技術開発

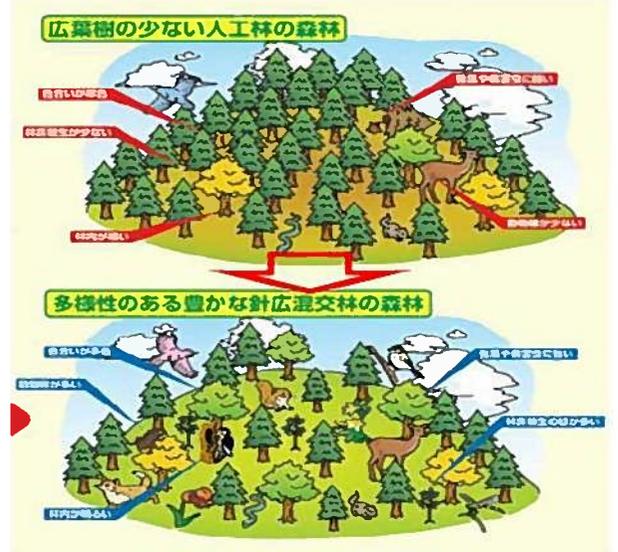
- モデル園地の選定
- 園地での実証実験
- 作業支援ロボットのミッション選定
- 作業支援ロボットの実証実験
- 森林環境保全の実証実験



事業概要 (森林保全活動 100年後の森づくり：生物多様性、カーボンクレジット、ジビエ)



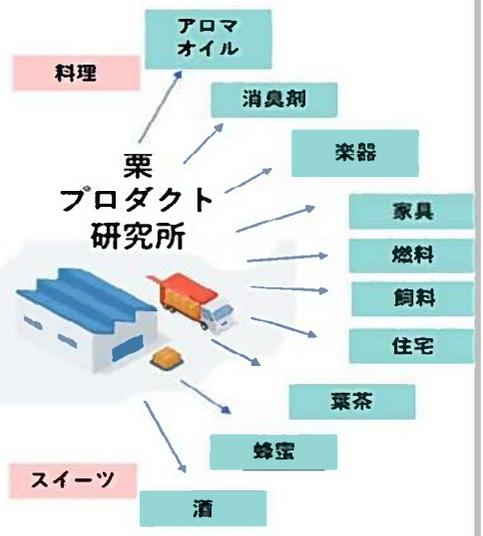
- 花粉対策
- 鳥獣対策
- 水質対策
- 病原菌対策



木材企業や楽器企業との連携



天竜里山イノベーション構想
 天竜杉(針葉樹) ⇒ 天龍栗(広葉樹) 森林へ
 里山を中心として、新しい産業のカタチを創造する
 栗という資源を活用したプロダクトのビジネスモデル



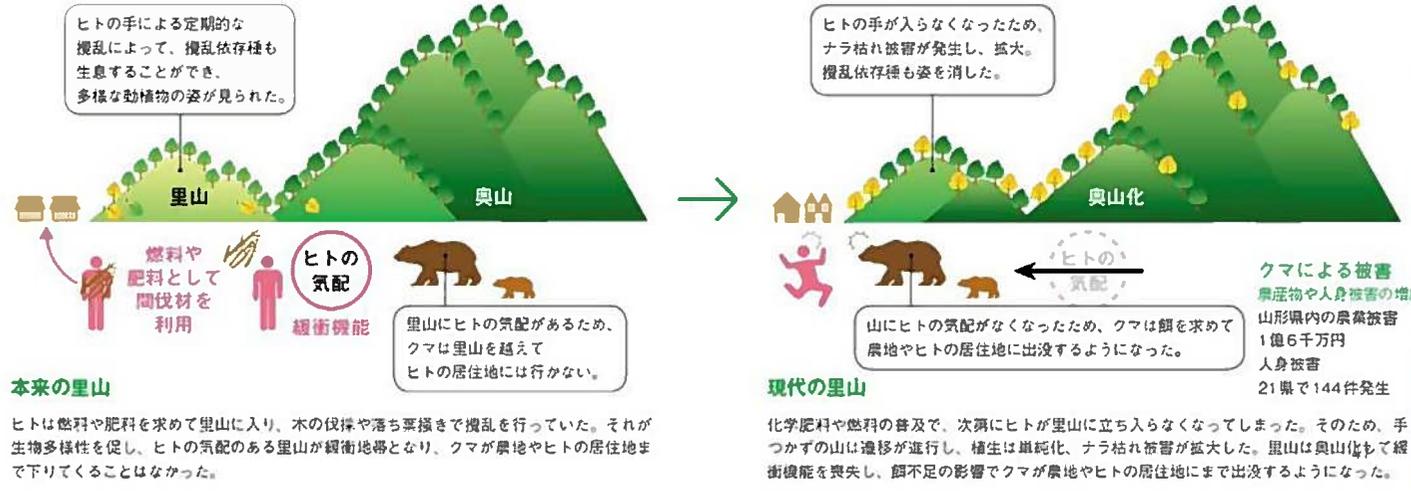
天部保男
 株式会社デンソー
 都市開発本部 計画企画部
 メディア企画部 参与



藤井直樹、井村多知志、加藤大輔
 株式会社デンソー
 社会イノベーション事業推進統括部
 サークュラーエコノミー推進室



食糧となる広葉樹を植林した上で、里山を人間が管理し、経済活動の活性化が必要



クマによる被害
 農産物や人身被害の増加
 山形県内の農畜被害
 1億6千万円
 人身被害
 21県で144件発生

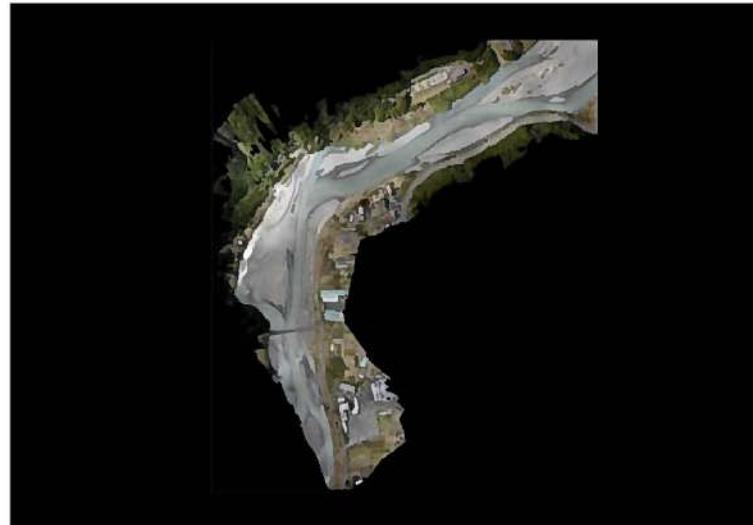


▶事業概要（ドローンや次世代モビリティによる農作業支援）



▶ドローンによる短距離配送及び運搬

大型ドローンで30Kgまでの荷物を配送、運搬することが可能。（飛行可能距離は最大積載量で約16Km）
農業においては苗木の運搬、重い資材の運搬が可能



▶農地データ写真測量

短時間で広域の写真測量ができ、オルソ画像、点群データを作成します。山間部・河川・沿岸部の広域に対応、1フライトで10ha～約100haまで調査が可能



▶農作業や中山間地域ラストワンマイル配送の提案

ドローンを利用した農薬散布。4足歩行ロボットを利用した圃場内運搬、昼夜間パトロール。自動走行車両を利用した草刈り、農薬散布、圃場内運搬を創造

スマートアグリソリューション

次世代モビリティを活用して、農作業のアップデート・技術開発を実証実験



◀技術部会

作業支援ロボット農薬散布
作業支援ロボット草刈り
ドローン農薬散布
などデモンストレーション
生産部会と技術部会
連携して技術開発計画



▶事業計画（イベント・商品部会）



■イベント・販売部会（池谷）

和栗協議会における出口販路の窓口と働きかけを行う推進活動

和栗協議会イベント企画・開催

和栗協議会商品開発

和栗協議会認証マーク販売フロー

和栗協議会の認知向上の為、イベント・催事に行い和栗の普及活動

菓子屋・飲食店連携ネットワークを構築し、秋シーズンでの一斉販売運営・管理

○商品開発イベント企画・開催

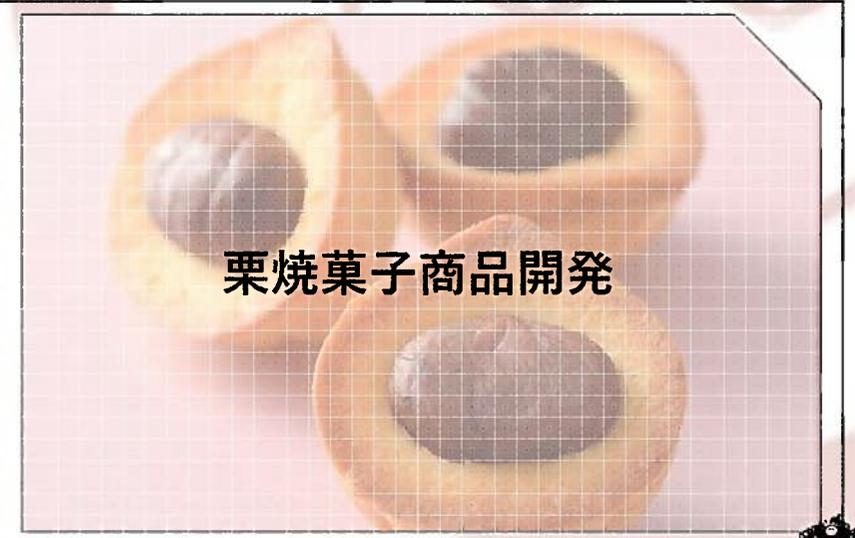
○マーケティング

○認証店の販路拡大及び販売フロー作成

○参画団体との催事開催

○産地連携による催事開催

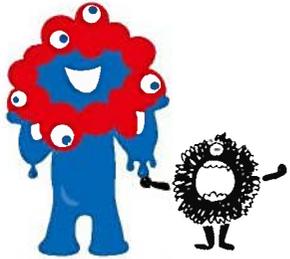
○産地交流・産地視察



▶大阪・関西万博 事業概要①



日本国際芸術祭 = ジャパンエキスポ (ジャパNDER)



和栗茶事

世界を代表する万博は国内外の賓客をもてなしてきた歴史があり、**日本の文化の茶室文化を、**

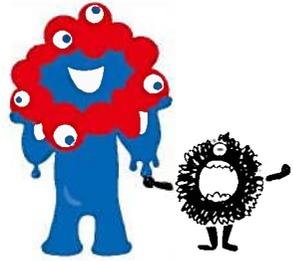
「お茶」と「和栗」このふたつの日本の地域資産を同時に、大阪万博の空間のなかで楽しめる場を創造。



和栗からはじまる、新しい公共 waguriを1億3000万人に届けるには? 交わりの道—栗と茶が導く、風土からひらく未来のモビリティ 栗は記憶、茶はこころ 織文からつづく和食の風土 開港の港から、感動の一服を世界をつなぐ茶と栗 日本の文化を世界へ—ジャパンナイトを経て世界にどう伝えているのか— 命を鳴らす 音楽と土から考える人間 一面のまえに肩書なし 刀を置さ、考える土地・人・未来 栗と茶と、出世のまら 浜松がひらくおもてなしのかたち 百年後のまらを想う 味・美・人が隔りなす共創の風景 心と脳に届ける「いただきます」



▶大阪・関西万博 事業概要②



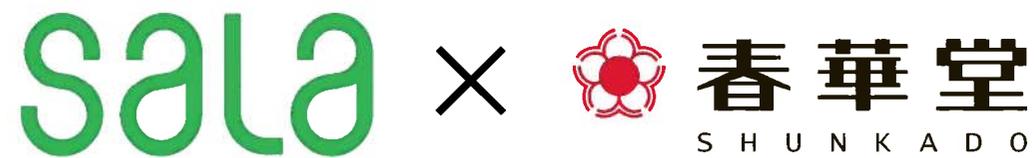
みるく饅頭
月化粧 × **うなぎパイ**
 浜名湖名産・夜のお菓子

大阪・関西万博店



▶サーラ共創プログラム「SANEN FOOD(三遠風土) CREATOR's TERMINAL」 事業概要

「SANEN FOOD CREATOR's TERMINAL」



東三河

東三河地域は、緑多き山々と雄大な太平洋、波静かな三河湾など、美しく豊かな自然に囲まれた地域で、花祭りや、手筒花火といった固有の伝統文化が受け継がれているほか、豊川稲荷や竹島など、魅力ある観光資源が多数あります。東三河の母なる川「豊川」の水の恩恵を受け、経済的にも発展してきた地域です。



遠州

南には「海」、北には「山」がある自然豊かなエリアです。全国的に有名になった「うなぎ」や「お茶」「みかん」「ぎょうざ」といった食べ物や、浜名湖畔や中田島砂丘、掛川城から見る美しい景観、「浜松城」「大日本報徳社」に代表される文化施設など様々な魅力に触れられる地域です。



▶サーラ共創プログラム「SANEN FOOD(三遠風土) CREATOR's TERMINAL」事業概要



sala



東三河フードバレー構想



×

和栗協議会



一般社団法人
和栗協議会

春華堂
SHUNKADO



地産地消 ⇒ 互産互消

Local to Local (ローカルtoローカル) で、お互いにあるもの・ないものを認め合い、求め合い、生かし合う地域間の新次元交流へ。



食農の広域連携を進めることで、一次産業を介して経済を盛り上げる
地域に土着したまちづくりを行うこと = 地域志本主義
まちとまちがつながる未来の可能性



▶事業計画（広報・人事部会）



■広報・人事部会（大見）

- 各部会での取組みを参画団体と連携して広報発信
和栗協議会の認知向上の為、広報誌を作成し和栗の普及活動
学生を巻き込み、地域への関心を高めてもらい、農業従事者及び地域での就職してもらえ
る制度構築
日本・海外に向けて、遠州の魅力を発信できるメディアマーケティング&プロモーション
和栗協議会のブランディング
クロスボーダリー学習・リスキリング学習の場を創造し、関係人口の拡大
- 参画団体広報連携
 - 和栗協議会広報誌の発刊（紙・WEB）
 - 毎月の広報リリース
 - 学生プロジェクト・インターン
 - 一般向けのイベント開催
 - 和栗協議会デザインプロダクト制作・コンテンツ制作（ブランディング）



▶アカデミープロジェクト スタディ・ツアー事業概要



アカデミープロジェクト スタディ・ツアー

<文化を産む産業>

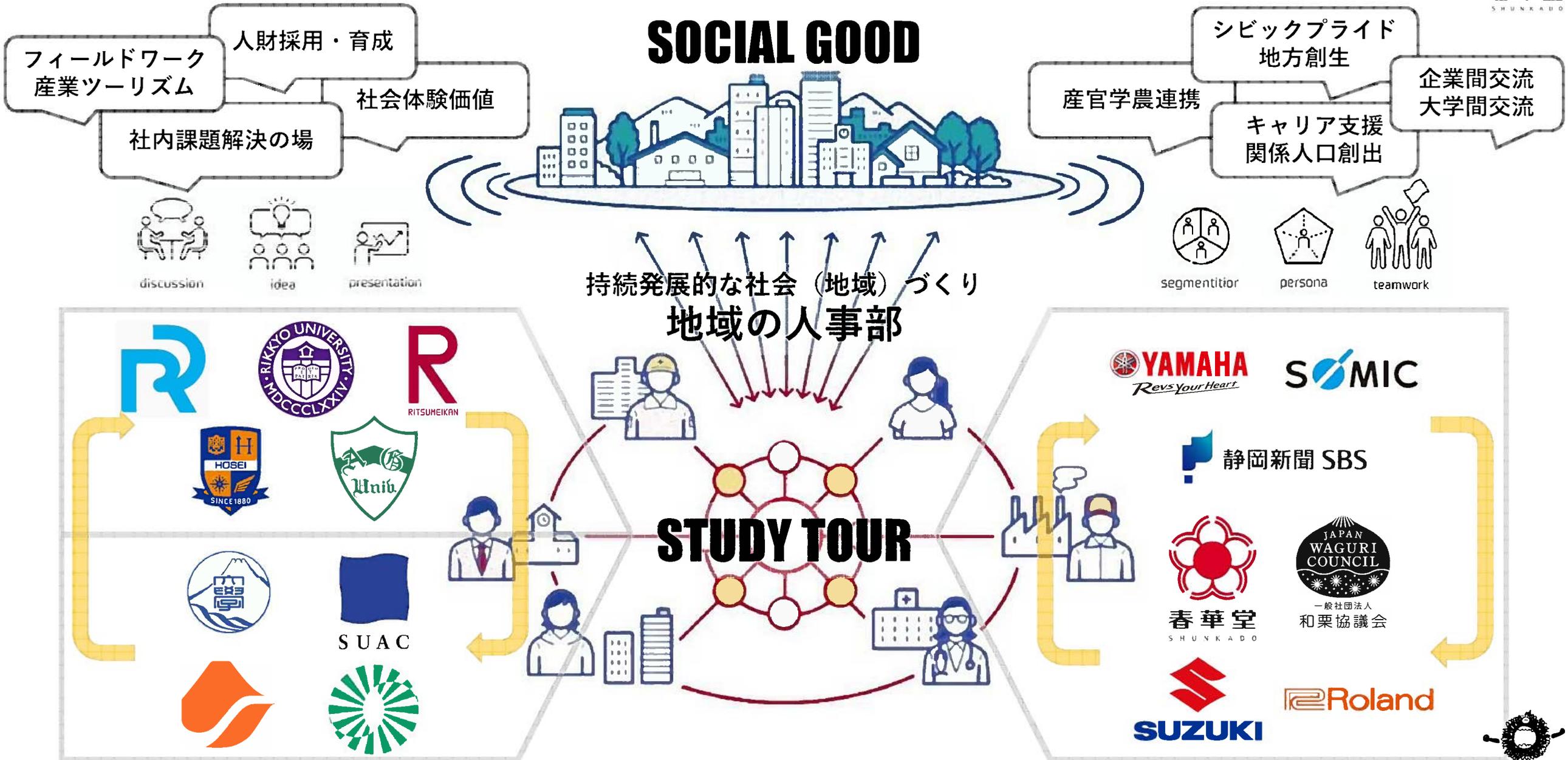
浜松は、**楽器産業・繊維産業**の発展にしていき、
戦後の昭和時代に、**オートバイク産業・自動車産業・光産業**など様々な産業が生まれ、
ものづくり産業都市浜松の不動の文化を確立していった。
一方で、昔より豊かな土壌にて**農業**などの一次産業が盛んに営まれて地域を支えてきた。



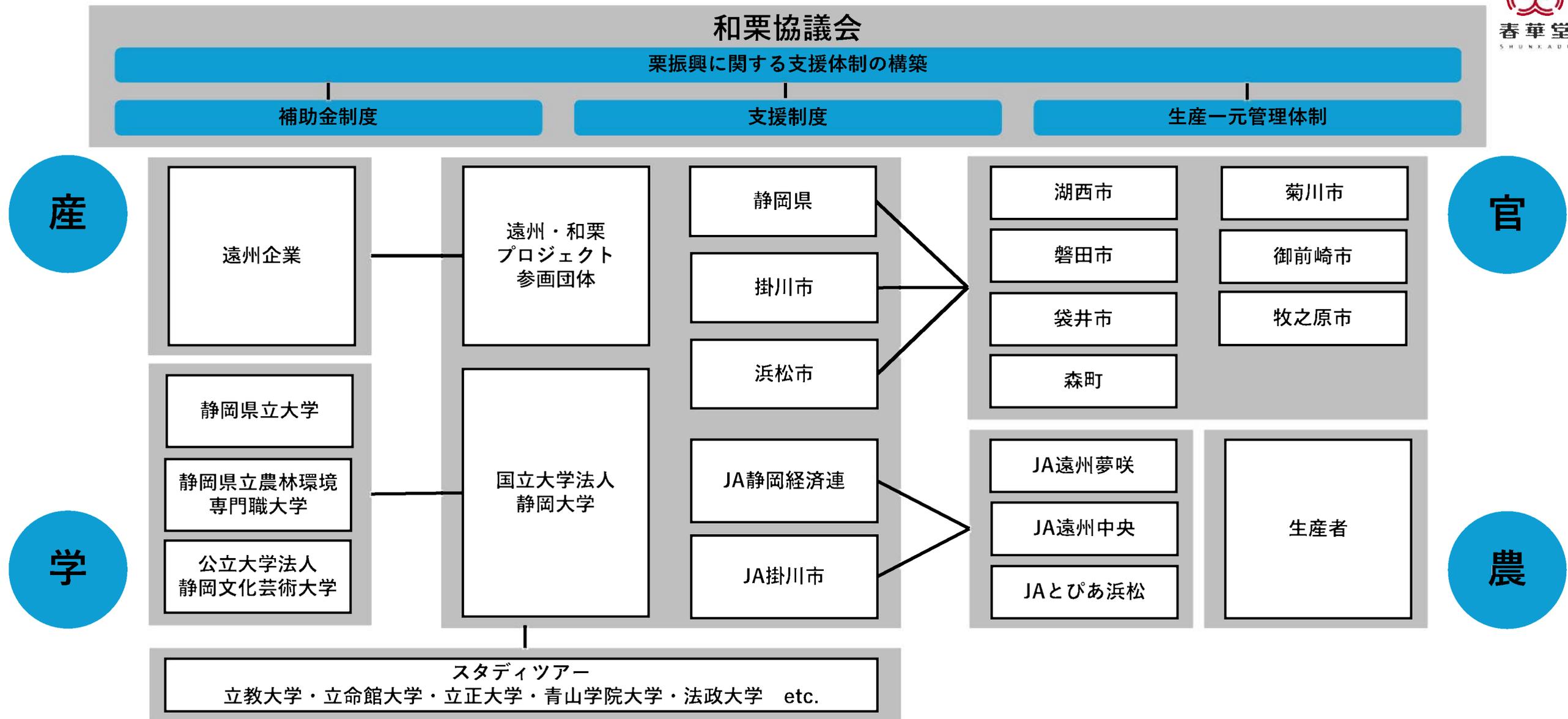
地域企業同士が連携して、関係人口創出・地方創生・産業ツーリズムの文脈の中で、
次世代型の教育エコシステムの可能性を創造する



▶アカデミープロジェクト スタディ・ツアー事業概要



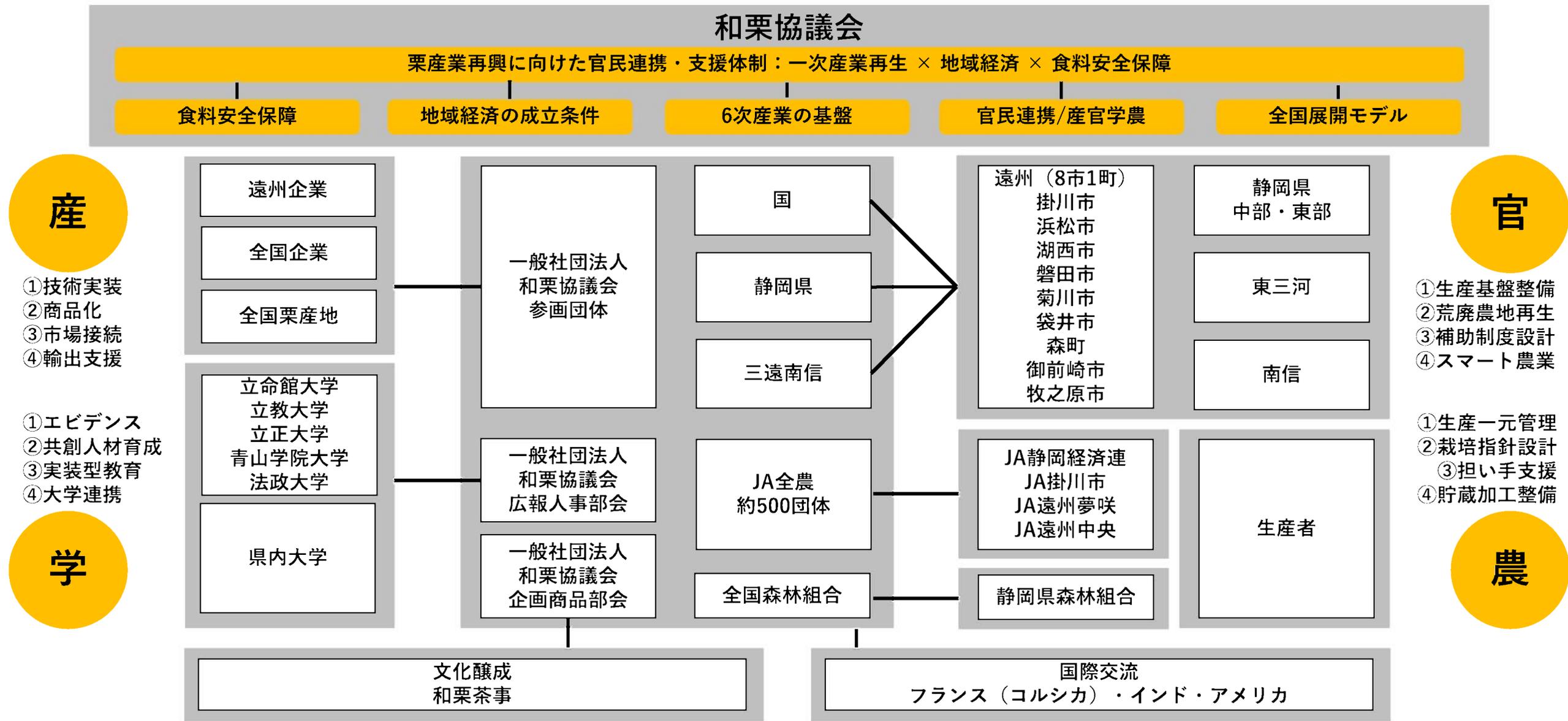
▶和栗協議会 2023-2025年体制→実証・設立：共創の意志表明



- STEP1▶2023 掛川モデル始動 : 単独自治体・農家での再生モデル検証
- STEP2▶2024 遠州エリア展開 : 中核自治体から広域連携体制へ
- STEP3▶2025 静岡県+三遠広域化 : 複数自治体・地域産業による共創モデル構築



▶和栗協議会 2026-2028年体制→展開・制度接続：政策・支援理由の明確化



- STEP4▶2026 国接続／モデル : 政策接続に向けた制度化・エビデンス提示
- STEP5▶2027 全国主産地展開 : 日本全国の栗産地と共通課題への連携体制を確立*宇宙部会検討
- STEP6▶2028 農業政策化制度設計 : 国策としての制度化・全国一次産業再生モデルへの格上げ